令和2年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

			施設番号	10
部	子ども健康部	課	子ども支援	課

1. 指定概要

. 阳足侧女							
	名称	八幡こどもの家	建設年	平成29年(大規模修繕 年)			
	所在地	近江八幡市本町5丁目5	利用対象	地域			
施設概要	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対 し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	延べ床面積183.84㎡、地上1階					
	指定管理 開始年度						
指定管理者	名称	NPO法人はちまんキッズ					
所在地 近江八幡市金剛寺町811							
指定管理業務の内容		①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和2年4月1日~令和7年3月31日 (5年間)					
指定行	管理料	平成30年度: 一 千円 平成31(令和元)年度: 一 千円		令和2年度: 一 千円 令和3年度: 一 千円(見込)			
利用制	料金制	採用している選択	2方式	公募 応募者数 1者			

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		- 関 9 る取り組み(計画) 目標と具体的な取り組み(計画)	令和 2 年度実績	所管課による検証
	施設の維持管理業	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、指導員が随時実施	(よかったと評価できる事項) ・児童の安全確保に努め、特に衛生面の管理 において適切に施設の維持管理を実施した。 (改善を要した事項と対応) 特になし
	務			(課題) 特になし (よかったと評価できる事項)
施設設置の目的達成状	(サービス向上:施設の運営業	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、保護者会の開催、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和2年度4,430千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長保育は19時まで実施している	特になし (改善を要した事項と対応) 特になし
況	策務) 	④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長		(課題) 特になし (よかったと評価できる事項)
	(提案内容の実施業務)	なし		(改善を要した事項と対応)

施				(よかったと評価できる事項) 特になし
設設置の目的	(利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	・開設日数: 263日・延べ利用者数: 7,308名・平均登録児童数: 41名	(改善を要した事項と対応) 特になし
達成状況	策況 一			(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

前年度実績	令和 2 年度実績	(よかったと評価できる事項)
■収入 (13,687千円) 保育料等 6,400千円	■収入 (14,044千円) 保育料等 4,430千円	特になし
業務委託料 7,287千円	業務委託料 9,614千円	
■支出 (14,012千円) 人件費 11,836千円 管理運営費 2,176千円	■支出 (14,421千円) 人件費 12,781千円 管理運営費 1,640千円	(改善を要した事項と対応) 特になし
双支状况		
		(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	年3回保護者会を行い、子どもたちの学童での様子を報告した。 個々のことはお迎え時に伝えあっている。
評価頂いている内容	・コロナ禍において、感染症対策をしながらの保育に安心して預けられたと感謝していただいた。・工作や遊びなど普段できない体験が出来ると喜んでいただいている。
苦情・意見等	・学校休校中、自粛に協力頂いた高学年の保護者の方から、今後の学童の開所など見通しが持てないので不安だ。という連絡があった。 ・外灯を設置してほしい。(5. の外灯の件参照)

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

- ・駐車場から学童保育所までの道がとても暗いので危険である。ビオトープ周辺だけでなくお迎えの道中にも外灯を設置してほしい。
- ・配慮のいる児童も増えているため、発達相談員などの専門の知識 を持った方に、学童保育所での様子を見てもらえるなど、意見を交 流できるような体制づくりをお願いしたい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

・今年度初めからコロナの影響で小学校が休校になり、学童保育所も高学年は自宅待機となった。6月から再開されたが、保護者会行事が中止になったり、夏休み・冬休みも短縮されたりと例年とは異なる1年だった。そんな中でも小学校のグラウンドや体育館を利用させてもらい、子どもたちは思い切り遊ぶことができた。いろいろな制約がある中でもストレス発散出来たのではないかと思う。・地域とのつながりを大切にするためにも地元の消防団による避難訓練や、地域で活動しておられる出前講座を行ってもらった。

・コロナ禍において感染予防対策など、支援員も手探り状態での保育となった。 毎日行うミーティングなどで支援員間の連携をとるようにした。

7. 所属の総括コメント

新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校時には、午前中からの開所を実施する等、日々、最大限の感染対策をしながら、保育体制を整えていただいている。子どもたちの安心・安全な過ごしのため、今後も継続した感染防止対応をお願いしたい。

地域とのつながりを大切にした活動をとり入れる等の工夫や姿勢など評価している。

引き続き、地域や小学校と連携を深め、支援員間で連絡を密にしながら、一段のサービス向上及び適正な施設の維持管理に努めていただきたい。